

『フトゥバの日・島口かるた大会』風景

令和4年2月18日

【フトゥバの日 島口かるた大会】

鹿児島県大島地区文化協会連絡協議会が、平成19年に「フトゥバの日」を制定しました。この日を中心として、衰退しつつある奄美方言の保存・伝承のための広報啓発活動が行われるようになりました。記念日の名称は各島ごとの方言でも定められており、奄美大島では「シマユムタの日」、与論島では「ユンヌフトゥバの日」などとなっているそうです。「ユンヌフトゥバ」とは、「与論（ユンヌ）の言葉（フトゥバ）」という意味で、「フ（2）トゥ（10）バ（8）」と読む語呂合わせから、記念日の日付が2月18日となりました。

東城小学校では、毎年2月18日に島口かるた大会を開催して、奄美方言の保存・伝承のための意識向上を図っています。また、日々の放送や島口カレンダーの活用、学習発表会での島口劇など、年間を通しての啓発活動を行っています。

島口かるた大会風景



学年別優勝者発表

- 5・6年生：林 梨乃
- 3・4年生：仁田尾乃愛
- 1・2年生：師玉 心音

